

「市民と交流」へ抱負

海上の森名誉センター長
クリスティーンヌさん

愛・地球博（愛知万博）の瀬戸愛知県館を改修してオープンする「あいち海上の森センター」の名誉センター長に就任した、マリ・クリスティーンヌさんが3日、名古屋市中区の読売新聞中部支社を訪れ、「愛知万博のメッセージを実践していきたい」と抱負を語った写真。

同センターは、5月中旬

から応募で受け付けた人を対象に、森林の体験学習や市民参加の学習会などを始め、9月に施設を全面オープンする。マリ・クリスティーンヌさんは「愛知万博では、市民が森を守れることを証明した。今後も、市民団体にいろんな形で参加してもらい、センターを人と



人の交流拠点にしたい」と述べた。同センターの浦井巧所長は「大変心強い」と期待を込めた。

マリ・クリスティーンヌさんは、国連ハビタット親善大使で、愛知万博では広報プロデューサーを務めた。